

参考3 後期高齢者医療費の特性(令和元年度)

		計	入院及び食事療養・生活療養	入院外及び調剤	歯科
1人当たり医療費	後期高齢者(A)	953,909			
	後期高齢者以外(B)	227,043			
	比率(A/B)	4.2			
1人当たり診療費	後期高齢者(A)	936,809	474,331	426,477	36,000
	後期高齢者以外(B)	222,965	72,512	129,138	21,314
	比率(A/B)	4.2	6.5	3.3	1.7
受診率(100人当たり)	後期高齢者(A)		79	1,579	256
	後期高齢者以外(B)		13	684	178
	比率(A/B)		6.2	2.3	1.4
1件当たり日数	後期高齢者(A)		17.5	1.7	1.9
	後期高齢者以外(B)		12.4	1.4	1.7
	比率(A/B)		1.4	1.2	1.1
1日当たり診療費	後期高齢者(A)		34,073	15,487	7,473
	後期高齢者以外(B)		45,316	13,124	7,136
	比率(A/B)		0.8	1.2	1.0
1件当たり診療費	後期高齢者(A)		597,027	27,012	14,069
	後期高齢者以外(B)		561,807	18,882	11,987
	比率(A/B)		1.1	1.4	1.2
1人当たり日数	後期高齢者(A)		13.9	27.5	4.8
	後期高齢者以外(B)		1.6	9.8	3.0
	比率(A/B)		8.7	2.8	1.6

(注) 「1人当たり診療費」 = 「受診率(1人当たり)」 × 「1件当たり日数」 × 「1日当たり診療費」  
 = 「1人当たり日数」 × 「1日当たり診療費」  
 = 「受診率(1人当たり)」 × 「1件当たり診療費」

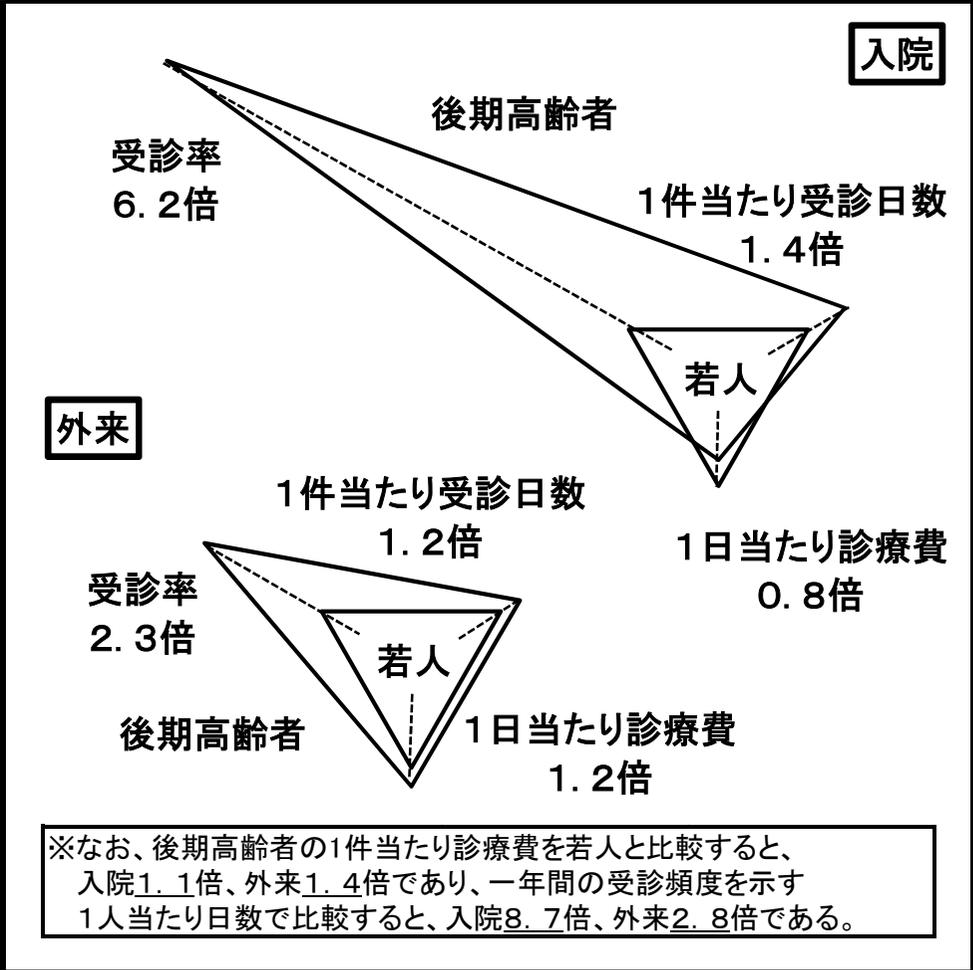
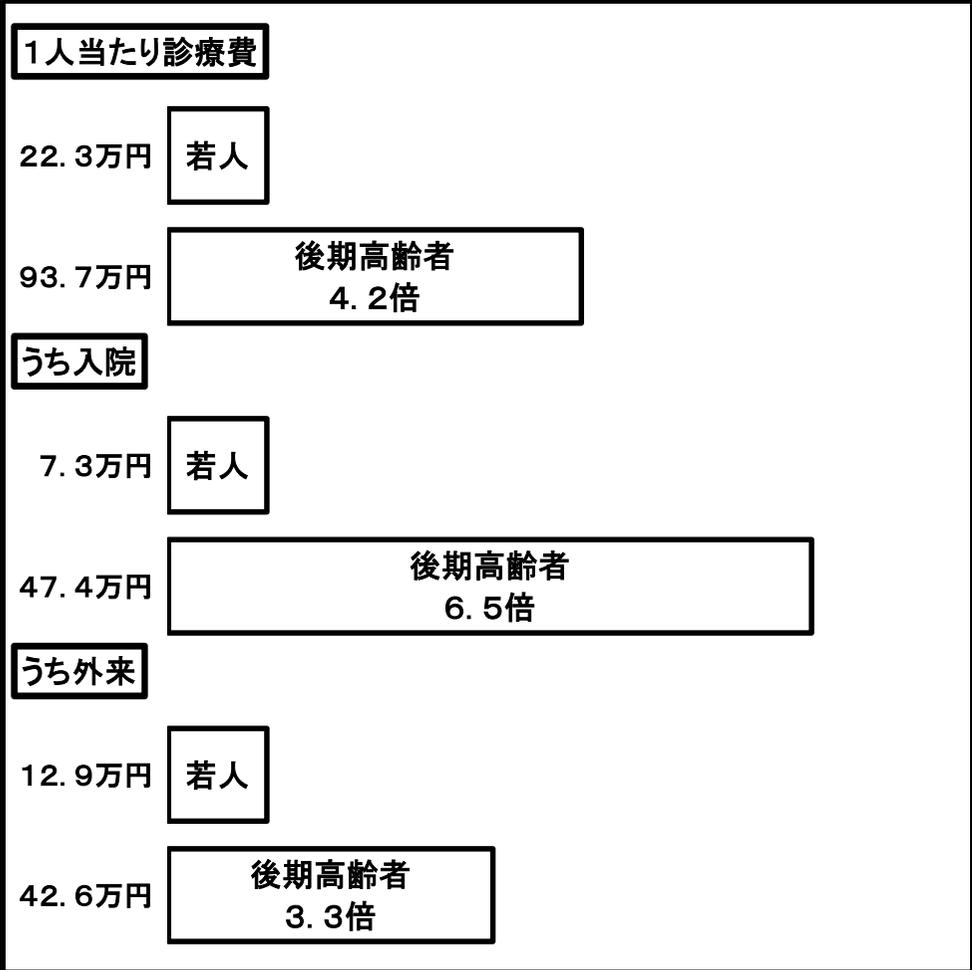
		100人当たり 推計新規入院件数	推計平均在院日数	入院1日当たり 医療費	推計1入院当たり 医療費
入院に関する分析	後期高齢者(A)	35.0	39.8	34,073	1,357,081
	後期高齢者以外(B)	7.9	20.2	45,316	915,531
	比率(A/B)	4.4	2.0	0.8	1.5

(注) 「推計新規入院件数」 = 「入院受診延日数」 ÷ 「推計平均在院日数」  
 「推計平均在院日数」 = 「1件当たり日数」 × 「月の日数 - 1」 ÷ (「月の日数」 - 「1件当たり日数」)  
 「月の日数」 = 「当該期間の日数(令和元年度は366)」 ÷ 「当該期間の月数(12)」  
 「推計1入院当たり医療費」 = 「推計平均在院日数」 × 「入院1日当たり医療費」

# 後期高齢者医療費の特性

1人当たり診療費の若人との比較(令和元年度)

三要素の比較(令和元年度)



※なお、後期高齢者の1件当たり診療費を若人と比較すると、入院1.1倍、外来1.4倍であり、一年間の受診頻度を示す1人当たり日数で比較すると、入院8.7倍、外来2.8倍である。

(注) 1. 後期高齢者とは後期高齢者医療制度の被保険者であり、若人とは後期高齢者医療制度以外の医療保険加入者である。  
 2. 入院は、入院時食事療養費・入院時生活療養費(医科)を含んでおり、外来は、入院外(医科)及び調剤費用額の合計である。  
 3. 後期高齢者の1人当たり医療費は95.4万円となっており、若人の1人当たり医療費22.7万円の4.2倍となっている。  
 (資料) 各制度の事業年報等を基に保険局調査課で作成。